旭区ボランティアセンターだより

共に支え合い、つながりを広げる福祉教育

新型コロナウイルス感染症予防対策により、今まで行われていた車いすなどの体験型の福祉教育が困難となりま した。そんな中、左近山小学校では、地域のボランティア活動を動画にして伝える取組をすることにしました。子ども たちは、高齢化が進む我が町で、互いに支え合うことでみんなのいきがいが高められていることを知り、自分たちに は何ができるのかを考えました。 左近山地域のみなさん・左近山地域ケアプラザ



子どもたちの学びを深めるためにはどうしたら いいのだろう。地域の支え合いの活動につい て知ることで、何ができるがを考えてほしい。

区社協も一緒になって…

地域のボランティア活動 を動画にして、見てもら



★子どもたちの感想★

あいさつをしたり声をかける ことが、左近山の未来につなが るのだと思ったので、自分たちの できることからやってみようと 思いました。

★左近山小学校の先生から★

地域の方たちが語りかけるよ うにお話をしてくださったので、 子どもたちはより自分事として 聴いていました。

地域の方から小学生に向けて

誰もが集える居場所を 左近山の様々な団体と共に 作り、運営しています。ひきこもり がちになる高齢者にもとても喜ん でもらっています。

~左近山地区連合自治会 林会長





声をかけることなど、率先して行動する ことが、君たちの成長につながり、希望あ

「人が人に思いやりをもってかかわること」が共に支え合う力を引き出し、その積み重ねが 生社会につながります。コロナ禍でもできる工夫を一緒に考え、地域のみなさんと「共に支え合い、 つながりを広げる福祉教育」を進めていきます。



令和3年度あさひふれあい助



区内で地域福祉活動を実施するボランティアグループ・市民活動団体、障害者等当事者団体などに助成を行います。 詳しくはホームページに掲載いたします。(3月中旬掲載予定)

「旭区社協」Q

てびき・申請書等については、窓口に取りに来ていただくか、ホームページからのダウンロードをお願いいたします。 なお、ご質問がある場合は、事前にご連絡のうえ、来所いただきますよう、お願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 例年実施していた説明会は開催いたしませんので、ご了承ください。

善意銀行に寄付いただいた方々(順不同・敬称略) 令和2年9月1日~12月31日

次の皆さまからご寄付いただきました。ありがとうございました。

(金品寄付) 荻窪 邦昭/内田 忠夫/伊藤 志壽江 都岡町内会チャリティもちつき大会/旭区港友会 旭区民生委員児童委員協議会/匿名3件

(物品寄付) 神奈川県理容生活衛生同業組合 旭支部



善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金品をお 預かりし、必要なところ、または希望された区内福 分し、皆さまの善意を広げていく事業のことです。

発行 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会







誰も孤立させないまち 旭区を目指して

今、私たちの周りでは人とつながりのない

"社会的孤立"状態にある人が増えています。

孤立しているといざという時に、助けを求められなかったり、

周りに気づいてもらえないことにより、

困りごとが深刻化することもあります。

そこで今回は、旭区社協が、旭区民生委員児童委員協議会と一緒に取り組んだ、 地域とのつながりをつくるための新しい取組についてご紹介します。



地域共生社会の実現に向けて

詳しくは中面へ



誰も孤立させないまち"旭区"を目指して



孤立させない!「つながり食料支援事業」

旭区社会福祉協議会では、区内の農家さんから野菜の提供を受け、生活にお困りの世帯等への「食」 を通じた生活支援を実施しています。生活の立て直しに向けて、民生委員・児童委員を始めとする地域 の皆さんや区役所、地域ケアプラザ等の関係機関とも連携しながら、見守り・相談支援を行っています。

民生委員・児童委員の皆さんが野菜を届けながら、相談のあった生活にお困りの世帯等と何気ない 会話を交わし、顔見知りになることで、「社会的孤立を防止し、困ったときにSOSを発信できるつな がりづくり」を目指します。



野菜を提供する農家さん

おいしく食べられるのに見栄えが悪くて販 売できない野菜を困っている人に食べてもら いたいと考え、取組に協力しています。小さ なことの積み重ねで、困っている人を支える 大きな力になればと思います。

この取組をきっかけに、少しでも 農業に関心を持つ人が増えることを 願っています。

野菜をご提供いただいている

地域でのつながりが薄い方は存在を知 ることが難しいですが、野菜提供をきっ かけに関係が築けるので、嬉しいです。

希望が丘中地区民児協

民生委員。児童委員

相談者の方には、「地域に気にかけてい

る人がいるのだ」ということをわかっても

らえたらよいですね。

困りごとを抱える方と地域住民

の接点をつくるにはどうしたらよい

か、本人の好きなことや得意なこと

を話しながら考えています。

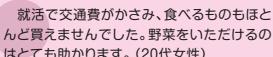












自分のために時間を 作って話を聞いてくれ る民生委員さんがいる ことに感謝しています。 (20代女性)

近くには頼れる人 がいないので、民生委 員さんが気にかけて くれるのはありがた いです。(40代女性)







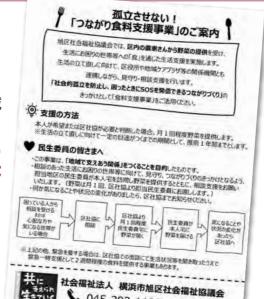








はとても助かります。(20代女性)



045-392-1123

241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35

共催;旭区民生委員児蘭委員協議会

民生委員・児童委員として活動する中で、身近な地域に顔見知りが いない、孤立状態にある人が増えていると感じています。困った時に 支援を受けられるようにするためには、日頃からの"つながり"が大 切であると思います。

「地域のつなぎ役」である民生委員・児童委員とし ては、旭区内の農家の方々からご提供いただいた野 菜を通して、"つながりづくり"を進めていきたいと 考えます。

旭区民生委員児童委員協議会 会長●峰松 雅子





ひとり親家庭向け「旭区産野菜の無料頒布会」

令和2年12月13日(日) ぱれっと旭にて

地域で孤立しがちであり、経済的にも苦しい状況に陥りやすいひとり親家庭向けに「旭区産野菜の 無料頒布会」を主任児童委員と協働で行いました。JA横浜メルカートつおか出荷者組合(会長大川祐 司様)の11軒の農家さんにご協力いただき、トラックいっぱいの新鮮な野菜をご提供いただきました。

当日は25組の方が来場され、アンケートによると約半数の方が、家族と支援機関以外につながりが ないとの回答がありました。今後はより身近な地域で参加していただけるように、エリア別の開催等も 検討していきます。







たくさんお持ち帰りいただきました!



コロナ感染下の福祉活動で、大きな力を発揮したのが食支援の活動です。職を失い、所得が十分 得られなくなった人に対しては、現金給付や貸付が行われていますが、すぐには、受け取れなかったり、 不十分な状況が見られます。そのような時、頼りになる支援は、食事や食材の提供です。昨年2,3月に 学校が休校した時には、学校給食(のみ!)が頼りだった子どもたちが十分に食事をとれないというよう な事態が起きました。

旭区でも「現状を放っておけない」と思い立った人びとが動きました。このように、持ちよって 行う食支援は、憐れみ、施しというものではなく、気持ちと気持ちをつなぐほんとうにあたたかい 活動ということができるのはないでしょうか。

渋谷 篤男(日本社会事業大学専門職大学客員教授)

